

教祖130年祭 立教179年1月26日執行
待ち望んでいた この日、この時!!
ご存命の教祖を慕って20万人が集う!



北海道
教区報

第523号
 発行所
 天理教北海道教務支庁
 札幌市中央区南8条西11丁目
 電話 011(561)-1148
 F A X 011(561)-1190
 E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp
 印刷
 三浦印刷株式会社

思召にふさわしい教会へ



場をお労いにお
 巡り下され、お
 酒をついでもら
 う者、握手をし
 て喜ぶ者などに
 こやかに歩かれ
 る御三方と触れ
 合っ、お酒の
 酔いもまわり、み
 な感激の面持ち
 だった。
 (写真及び見出
 しは天理時報よ
 り転載)

教祖130年祭を勤め了えた翌日より夕づとめ後、真柱様の親心で教会長ご招宴が開かれた。27日は親里から遠い地域の海外、北海道、東北、沖縄、九州南部の方々、概ね三千名が、天理大学柚之内体育館に集まった。直属ごとにまとまって着座したので、北海道の顔見知りの方々も、広い会場にあちこちと散っていた。直属の会長、夫人が接待係にまわったが、真柱様、奥様、大亮様が宴もたけなわになった頃、会場をとお労いにお巡り下され、お酒をついでもらう者、握手をして喜ぶ者などにこやかに歩かれる御三方と触れ合っ、お酒の酔いもまわり、みな感激の面持ちだった。

感謝、感激の教会長ご招宴

教祖130年祭教会長御招宴

「教えを伝えたい、学びたい」
基礎講座・北海道会場
 3月13日(日) 13時30分 教務支庁
 4月10日(日) 13時30分 教務支庁
 ※本部会場講師 宮内 泰夫 先生
 5月1日(日) 13時30分 小樽支部会場

詳細は災救通信をお読み下さい



●空知支部隊 (坂本忠則隊長) は、1月31日、美唄で実施、少年会員を含む63人が参加した。



●南空知支部隊 (寺澤信彦隊長) は、三笠及び岩見沢で訓練を実施し、北海道教区隊 (奥村尚人隊長) スタッフの研修、冬季訓練も併せて実施した。1月30・31日、2日間延べ79名参加

今年も災救隊が訓練を兼ねて大雪地方に出動! 主に独居老人宅の除排雪にあたった

教祖百三十年祭に思う



総務部 高橋 政嗣

一月二十六日、教祖百三十年祭が晴天の下、二十万人余の人がおちばへ帰り、厳かに且つ、盛

安心のおちばがえりを



輸送部 笹田 道継

謹んで立教百七十九年の新春をお喜び申し上げます。本年は三年千日を締めくくる教祖百三十年祭が勤められる記念すべき年であります。我々はこの日を迎えるためにそれぞれの持ち場立場で親の思いに応えるべく歩みを進めてきたのであり、輸送部としても変わりゆく輸送体制、条件に手探りながらもおち

大につとめられた。私にとって五回目の年祭であるが、その都度年祭の元一日に思いを馳せ、今の自分自身の通り方を振り返るよう心懸けている。「始まりの理とおさまりた理、理は一つ」とお聞かせ頂くが、どちらも子ども可愛一杯の親心からであると聞かせて頂き、その親心にお報いすべく通らせて頂くのが、我々の使命と思案する。けれど始

まりた理は、何も分からない人間に元初りの理を教えて下さったのであるが、おさまりた理は、五十年に亘るひながたの道に、陽気ぐらしの世界へ進む全の方策が示されていることを考えると、それを悟り、それに向かつて歩みを進める我々一人ひとりの心に分かっていることを新ためて思案しなければと思う。

ばに帰る人々を支え、どうしたら快適な旅行をして頂けるかをこの3年間考えてきました。しかしながらあくまでおちばへ帰られる一人一人が主役であると思えますので、こちらは出過ぎず、黒子に徹しておちばでより良い時間を過ごして頂ければ、それに勝ることはありません。先月24・25日には標本と天理駅間にシャトルバスが臨時に出たので、輸送部員が交替でリムジンバス停の標本で、「おかえりなさい」と帰参者をお迎えさせて頂き、喜んで頂きました。

私達の信心は神様にもたれることが基本であり、万一の事故やトラブルを未然に防ぐ努力はもちろん必要ですが、それが起ってしまった場合どうするかを事業者の皆さんと共に協議しながら、おちばがえりの輸送にあたりたいと思っております。とかく安さばかりに気が向き、利用される方の快適さを損なったり、無理なスケジュールを組んでしまう傾向があるように思います。特に冬期間は思いがけぬ気象条件になり、おちばに帰れなくなるケースもありますので、小団体で独自でおちばがえりを計画されている責任者の方は特に留意して頂き、不安な点は是非ご相談頂きますようお願いを致します。

学生担当委員会 おちばがえり大会に向け、全ての学生に声掛けを：



委員長 和田与志男

「別席団参」と名打っており、毎年初席や中席を運ぶ人、おさづけの理を拝戴する方もあり、身上者へのおさづけ取り次ぎや、事情者へのたすかりを願う祈りなど、団参期間中おたすけの喜びを感じさせていたたく貴重な機会でもあります。

昨年、学生会活動の上にご理解とご協力を賜り誠に有難うございました。とりわけ本年3月28日に開催される「教祖130年祭 学生おちばがえり大会」に向けて、育成功成金の件で、ご協力を賜りましたこと厚くお礼を申しあげます。

いま学生会は「全教会からの参加を目指して」千名の仲間と共におちばへ帰り集う事を心定めております。全ての教会から学生がもれなく大会に参加出来ますよう、教区と直属の連携や親里管内の学生への声がけに全力で取り組み、お道の教えに触れ、教会につながり、有為なるようばくに育つための会となるように、共々に活動させていた

この学生おちばがえり大会は、学生会活動の集大成とも言える行事であり、式典において、真柱様より御言葉を戴き、今後の学生会活動ならびに学生自身の信仰に対する指針をお与え頂く大事な場でもあります。お道につながる学生すべて、そして学生層の育成に関わる方々にもぜひ参加して頂きたいと思っております。

この「大会」は、教祖130年祭後、本部として最初の行事となる上から、学生が先陣を切つて、これからのお道に弾みをつけ、担うような会活動を展開すべく、一にも、二にも学生の大会参加の声がけの上に、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

※左記要項を、ご覧下さい

私がまだ若い頃に聞いた話である。

札幌で大変繁盛している大きな商店があった。その奥さんは一人娘だったので、後に婿さんを貰い社長夫人として治まっていた。ところでこの奥さんの風評はことのほか悪くて、みなあまり近くに寄りたがらない。その原因は、何かにつけて気に入らないで不足を言ってばかりだからであったからだ。そのうち身内の人たちまでもが寄りたがらなくなったと聞いた。

私はなぜ不足するのだろうか、その奥さんを知るある人に聞いてみた。すると「これは周囲のみんなが知るところですが、子供の頃から何不自由なく与えられ、わがま、に育てられてきたせいです。人としての苦労がないからです」と突き放した言葉が返ってきた。

私は「人としての苦労がない」とはうまいことを云われるなあと思った。この奥さんは求めるま、に与えられ、人に世話をしてもらおう事があたりまえの人生を送ってきた結果、自分の思い

通りにならない人に即面白くない。それで不足を言うとは人は遠ざかってしまう。ますます面白くなくて喜べない日々が続くということである。

私達の本当の幸せは心が喜べることである。衣食住が満たさ

教理随想 (六)

喜びと御苦労

木岡 昭

ただだけでは、一時喜んでも幸せを感じる心は消えうせてしまう。

この世はすべてにおいて相対性であるから、喜びは苦しみがあつてはじめて成立するものである。したがって喜びがある限

り苦しみは絶対になくならない。だから喜びの意味は苦しみの意味がわからねばわからないということである。

苦労は買ってでもしておくと先人の言葉があるが、それは苦労しただけ後に喜びが待っているからである。

ところが苦労の中味が大切なのである。先の奥さんのように自分勝手な心づかいで、相手の心を考えず自己中心的な行動つまり、自分の「いんねん」で苦労しているのは、人のうらみ腹立ちを買うばかりで喜び心は与わらないのである。

本当に喜び心が与わる苦労は生命の親である神につくし、人につくすことである。

私達は生きるために自分を守る心を与えられている。その心が自分以外のものにつくすことは損なことである。そのため努力することは苦労である。しかしこの苦労こそが、喜べる種となつて新しい運命を築く土台となると確信する。私は生かされてある限り苦労から逃げるつもりはない。

1、000名の参加を目指して!!
教祖130年祭「学生おぢばがえり大会」迫る

飛行機便の申し込みはすでに締め切っておりますが、小樽からのフェリーを利用しての参加は3月18日まで受け付けております。又、個人での参加や現地参加、管内の学生の参加にも対応いたしますので、一人でも多くの学生にもれなく参加いただけるよう、最後までお声がけをよろしくお願いいたします。



おぢばがえり大会引率者会議(2/20)

●フェリーコースのご案内

25日 小樽港発-天理-30日小樽港着 3月18日締め切り
費用 33,000円
※25日、30日教務支庁-小樽港間のバスがあります(片道1,000円)

●現地参加のご案内

26日夜詰所集合-29日夜詰所解散
費用 7,000円

●宿舎: 天理教芦津大教会信者詰所 tel 0743-62-0033

●申し込み: 申し込み用紙に記入の上、支部学担又は教区学生会、学担まで郵送、FAXにてお申し込みください。(電話のお申し込みはお受けできません)

●内容

3月27日 前夜祭「Next Step130」
28日 午前10時~ 式典(真柱様お言葉)
29日 直属アワー・別席
他教区との親睦行事等

新教会長さん紹介

(平成28年2月26日お運び)
函館支部

高社分教会(高安)
奉告祭5月7日



大浦正人氏 (43歳)

にかけ、「真冬の集いinまなび」を開催した。

この行事は「春の学生おぢばがえり大会」に向けて会員の意識を高め、大会に更なる参加者増加を目標に開催された。

様々なレクリエーションや練り合いを通じて、学生会員にとって心が前向きになるヒントを得たなどの感想があった。又学生だけではなく、トレーナーとして参加した学生担当委員会にとっても、今回の行事を通して今後、様々な場面で活かせる事を学んだ。

【参加者・学生42名、学担21名】

学生会『真冬の集い inまなび』開催

学生担当委員会(委員長 和田与志男)は2月6日から7日

初心者大歓迎!!

あなたも雅楽を学びませんか?

— 北海道教区『雅楽講習会』開催要項 —

【日時】平成28年5月3日(火)午後1時～5月4日(水)午後2時まで

【会場】北海道教務支庁

【対象及び課題曲】

- ・初級者 平調「越殿楽」「五常楽急」「陪臚」
- ・中級者 尙越調「武徳楽」「春鶯囀颯踏」「同入破」

【定員】各管の初級、中級それぞれ6～7名

【受講費】(宿泊、食費含む)

一般(高校生以上) 3,000円

小中学生 1,500円

【申し込み】4月15日まで

北海道教務支庁内 北海道雅楽会事務局

Fax) 011-561-1190

担当:古川慎司 Tel) 0144-67-8485 (Fax兼)

こかん様につづく会

しらゆき会では2月21日教務支庁でこかん様につづく会を開催。会員12名が参加し、ガールズトークや神名流しを通して親睦を深めた。



訃報

- ・友廣 路由様 12月2日出直 (92歳) 旭川市分教会長 (旭川支部)
- ・半澤 綾様 12月24日出直 (96歳) 知床分教会長 (網走支部)
- ・長野ハツ工様 12月27日出直 (96歳) 文道分教会長 (南空知支部)
- ・伊藤とくえ様 12月28日出直 (56歳) 北湧分教会長夫人 (紋別支部)
- ・松家 菊枝様 1月30日出直 (88歳) 神楽分教会長夫人 (旭川支部)
- ・堀内 ミキ様 1月19日出直 (96歳) 誠利分教会前会長 (釧根支部)
- ・久富 ユリ様 1月18日出直 (95歳) 美誠分教会前会長 (南空知支部)
- ・吉村 正道様 1月12日出直 (80歳) 小能登呂分教会長 (函館支部)
- ・船戸 すす様 12月31日出直 (92歳) 本斗分教会前会長夫人 (空知支部)

けいじばん

◎法律に関わる諸問題で相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記(渡部)までご連絡下さい。

◎手話・点字講習会

毎月1日、教務支庁にて午後6時から8時まで行います。※雅楽練習会も併行して開催しています。(三布連)

◎毎月26日に本部月次祭遙拝式をおこなっております。(ご参加下さい。)

北海道教務支庁日誌抄

(12月22日～2月19日)

- 12月23日 教区長上和
- 25日 教区長会議
- 26日 本部月次祭遙拝式 教務支庁御用納め
- 30日 教区長帰庁
- 1月1日 元旦祭
- 4日 教務支庁御用始め 任命願書発送
- 6日 たすけ推進会議
- 7日 支部長会議
- 10日 事情願書発送
- 16日 教化育成部会議
- 23日 教区長上和
- 26日 教祖130年祭遙拝式
- 29日 図書修理会
- 2月1日 たすけ推進会議 少年会支部委員長会議
- 2日 支部長会議
- 4日 任命願書発送
- 6日 まなびば
- 10日 事情願書発送
- 14日 第171回基礎講座 講師 奥村尚人
- 19日 教区報編集会議 (受講者 6名 累計 7千910名)

